

薬学部



薬学部
同窓会会長

田中 稔泰

薬学部同窓会は1979年に発足し、活動を行っているところですが、2006年からスタートした薬学部6年制が、今年で完成年度となり、初めての卒業生を迎えることになります。今後新しい卒業生と各地域での卒業生の交流が今まで以上に深まって行くことを期待している次第です。

各地域における同窓会活動としては、昨年、関西支部が設立されたので全国16支部(道内6、道外10支部)で活動を行うこととなりました。各支部では、毎年、医療薬学セミナーと同時に総会や懇親会を開催し、その地域での薬業、医療に関する情報交換を行っております。また、毎年開催される日本薬剤師会学術大会開催地においては、例年その地域の支部が当番幹事となり、懇親会を開催しております。同窓会の活動はこのような会員同士の交

〈創立年:1979年 会員数:4,700名〉

流を深めながら、それぞれの仕事やモチベーションを高めることを一つの目標としておりますので、全国の同窓生が一緒に参画できるよう支部役員の協力を得ながら活性化を図り、行ってまいりたいと考えております。また、近年、私立薬学部の新設が相次いだことから、全国の私立薬学部において入学者の定員割れを起こしている大学もあり、今後厳しい状況が到来する可能性があるかと認識しております。我々同窓会としても、この点において大学に寄与できるように努力してまいりたいと考えております。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>

歯学部



歯学部
同窓会会長

笹輪 隆宏

「学部の発展と会員の親睦」を目的に設立された本会も早いもので再来年30周年を迎えます。この間、大過なく同窓会活動を行えたのはひとえに会員はじめ多くの皆様のご理解とご尽力によるものと厚くお礼申し上げます。

昨年は我が国にとりまして大変な年でした。千年に一度あるかないかという自然災害の発生とそれに伴う原発事故。また国の借金もとうとう1千兆円の大台に乗り、将来に対する国民の不安は募るばかりです。しかしこの不安材料は残念ながら我々にはコントロールできません。大切なことはコントロールできることとできないことを区分して、コントロールできることにフォーカスを当て全力で改革を進めることです。現在の環境の急激な変化には過去の考え方、やり方はもう通用しないかもしれません。“在り方”、つまり本質を見つめ直し、持っ

〈創立年:1984年 会員数:約2,800名〉

ている資源の分析をし独自の強みを生かしていく、そういう意味では今、すべての行程、つまり考え方から仕組みそして日々の実践まで“整理整頓”する良い時期なのではと考えます。

本会が30年後、独自の価値を見出しさらに成長している姿を願い、現在「志」を共にする仲間と“整理整頓”している最中です。今後、目的の達成を果たすべく頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~d-alumni/dousokai-honbu@clock.ocn.ne.jp>
事務局 札幌市中央区宮ヶ丘1-1-21
TEL 011-621-7403 FAX 050-3355-6837

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科



看護学部
同窓会会長

川村 武昭

福慧会(看護学科同窓会)は1997年に発足して、今年度で15年目を迎えました。ひとえに卒業生の皆さまを始め、大学並びに関係団体の皆さまの日頃からのご協力のお陰であることに感謝しております。

主な活動内容としては、臨床福祉学科と協働で取り組んでいる看護福祉学部同窓会セミナー及び看護福祉学部学会の企画及び運営を主軸に、4学部及び歯科衛生士専門学校とともに協働で開催している同窓会連絡協議会や同窓会コラボ☆講演会があります。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を卒業生の皆さんにお伝えするものとして会報誌の発行やホームページの運営、同窓生同士の繋がりを保つものとして同窓会名簿の発行を三年毎に行っています。そして、同窓会活動の方向性について話し合う場として役員会を開催しており、活動の幅は年々広がっています。

昨年は東日本大震災のために日本中が大きな被災を受けました。学校や多くの先生から沢山のバックアップを受けながら「仲間が被災したかもしれない」と東北3県と関東周辺の同窓生はもちろんのこと、日本中に散らばる同窓

〈創立年:1997年 会員数:約2,000名〉

生に同窓会名簿を片手に1件ずつ安否確認の電話掛けやメールを送り続け、フェイスブックを活用した呼びかけを行ったのも多くの同窓生でした。日本各地で日々奮闘している同窓生の皆さんの横の繋がりをしっかりと保つための活動を続けていくこと、そして、このような災害が起きた時の命綱になれるように、これからも各期幹事はじめ役員一同で同窓会活動を盛り立てていきたいと考えております。ホームページと会報誌をとおして同窓会活動を随時お伝えしておりますので、是非皆さまからのご意見ご要望をお待ちしております。

これからも常に足下を見直していきながら、同窓生同士の交流と学校との繋がりを大切に活動を行っていきたくて考えていますので、これからもどうぞよろしくお祈りいたします。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/kango@hoku-iryu-u.ac.jp>

看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科



臨床福祉学科
同窓会会長

小畑 友希

東日本大震災発生からまもなく1年が過ぎようとしています。私自身も、直後の昨年3月末に岩手県沿岸の宮古市から陸前高田市へ障がいのある方たちの被災状況調査のために現地入りしました。津波の破壊力は凄まじく、火災が発生した街は瓦礫となりすっぱり消えていて、今でも残像が目には焼き付いています。そして私たちは、この震災で多くのことを学びました。

同窓会でも震災直後、安否確認作業を行いました。その際には、平時からの“つながり”を構築する必要性を改めて痛感いたしました。その後の震災調査(NHK)で、ある数値が公表されました。非常にショックな内容で、震災による犠牲者率が、障がいのある方が2.06%、市民全体が1.03%(主要被災地域28市町村)、比較すると障がい者の犠牲者率が2倍であり「障害ゆえの犠牲」が顕在化しました。札幌白石の姉妹孤立死も同じ延長線上に思えてなりません。私たちの仕事は、人と人とのつながりを作る仕事です。安心・安全な地域社

〈創立年:2000年 会員数:約2,000名〉

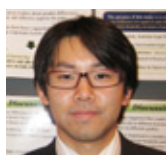
会をつくり豊かな暮らしを守る仕事です。福祉や介護の専門職として、改めて自分たちの“質の向上”を常に意識しなければならぬと再認識しました。

2011年度の同窓会活動としては、つながりの再構築への足がかりとしてHPを開設しました。今後は同窓会活動の紹介の他に、HPを起点に卒業生の輪を広げていきたいと考えています。また、福祉・介護分野の質の向上をはかる取り組みとして、卒業生を講師に国家試験対策講座を2回開催いたしました。早い時期から資格取得を意識して大学で学ぶことで、実践力のある専門家となっていただきたいと思っております。

今後も大学や他同窓会としっかりと連携を深めながら、会の発展を着実にやっていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp

心理科学部／臨床心理学科



臨床心理学科
同窓会会長

本谷 亮

医療大に立ち上がった臨床心理専攻が、臨床心理学科と名称を変え、当別からあいの里へとキャンパスを移し、早11年となりました。当別時代から数えると実に20年です。本同窓会は設立6年目ですが、同窓生の人数も年々増え、活動に深みが増してきています。日頃の同窓会活動へのご理解、ご支援に改めて感謝いたします。

昨年の大震災により、日本全国、大変な被害を受けました。本同窓会では、震災直後より、HPや本学と連携をとり、皆様の安否確認を行いました。甚大な被害を受けられた方は確認できませんでしたが、しかし、今回の震災では、直接的な影響のみではなく、さまざまな場面で影響がでており、心を痛められた方、大変な思いをされた方々のお話は多々お聞きしました。

さて、活動では、今年度も定期総会、親睦会、同窓会セミナー、会報誌『医心

〈創立年:2006年 会員数:約500名〉

伝心』発行などを行っております。また、活動を進めていくための役員会も実施し、内容を充実させるために検討を重ねています。来年度も2つの同窓会セミナー(6月と3月に実施)が決定しているとともに、役員数を増加させ(3名増員)、運営基盤の安定を図るとともに、活動を活性化させることを目指しています。

同窓生のニーズに答えられるような取り組みを進めていくとともに、セミナー等を通して同窓生の結びつきを強めていき、同窓会活動を社会に発信していきたいと考えております。今後どうぞよろしくお祈りいたします。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/shinri-dousokai@hotmail.co.jp>